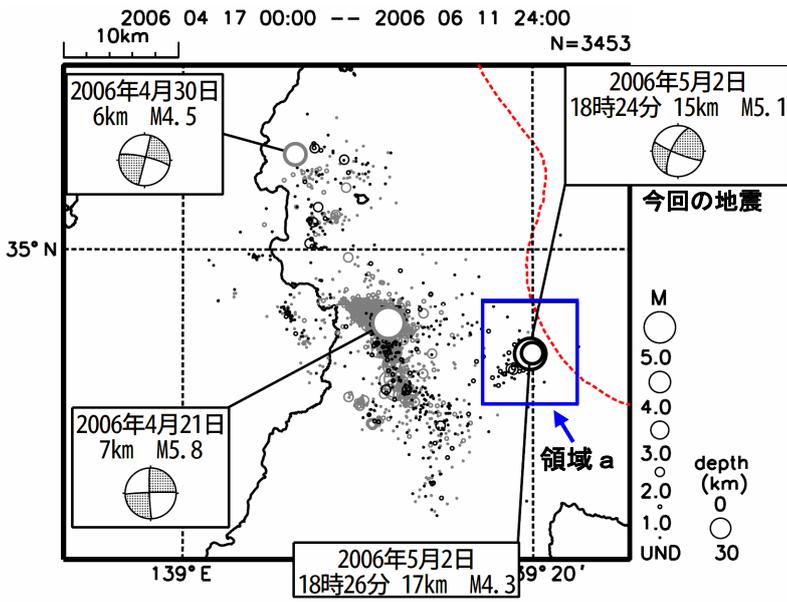


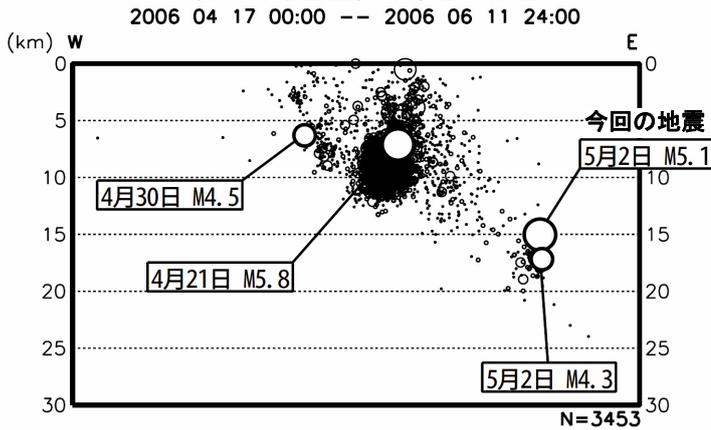
5月2日 伊豆半島東方沖の地震

A 震央分布図 (2006年4月17日以降、Mすべて)

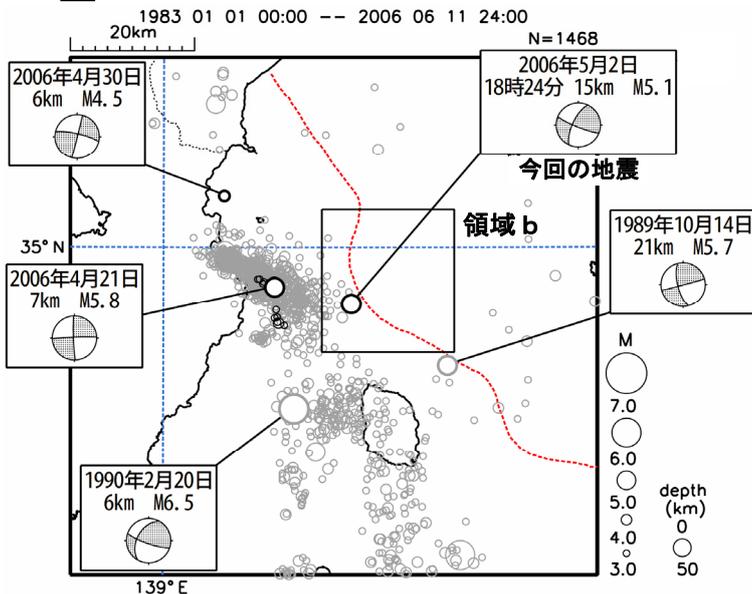


(2006年5月以降の地震を濃く表示している)

震央分布図全体の東西断面図



B 震央分布図 (1983年以降、M \geq 3.0)

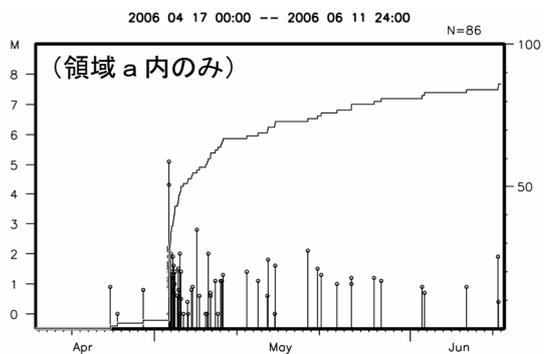
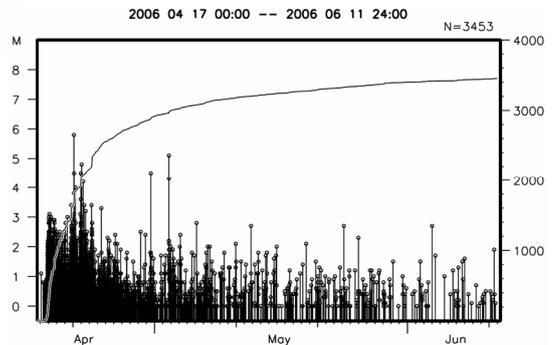


(2006年4月17日以降の地震を濃く表示している)

2006年5月2日18時24分に伊豆半島東方沖の深さ15kmでM5.1(最大震度4)の地震が発生した。発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。直後の18時26分にはこの地震の余震となるM4.3(最大震度2)の地震が発生したが、余震活動は減衰してきている。

伊豆半島東方沖では、2006年4月17日より地震が多発し、4月21日にはM5.8(最大震度4)の地震が発生したが、地震活動は低調となってきている。今回の地震はそれらの活動域から東に約10km離れた場所で発生した。(A)

地震活動経過図、回数積算図



1983年以降の活動を見ると、今回の地震の震央は、伊豆半島東方沖の主な地震活動域からは東に外れた場所であり、付近ではM5.0クラスの地震は珍しい。(B)

領域 b 内の地震活動経過図

